

## 臨床研究に関する情報

北海道大学病院リウマチ腎臓内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報及び研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号、令和5年3月27日一部改正）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名] 希釈ラッセル蛇毒時間（dRVVT）法の臨床的カットオフ値に関する多機関共同研究

[研究代表機関名・長の氏名] 北海道大学病院・病院長 渥美達也

[研究代表者名・所属] 藤枝雄一郎・リウマチ腎臓内科

[共同研究機関・研究責任者名]

聖マリアンナ医科大学病院 臨床検査技術部 山崎哲

社会医療法人川島会川島病院 診療技術部 検体検査技術科 徳永尚樹

天理よろづ相談所病院 臨床検査部 下村大樹

山形大学医学部附属病院 検査部 叶内和範

北海道医療大学病院 臨床検査部 内藤澄悦

[研究の目的]

抗リン脂質抗体症候群の検査診断は、ループスアンチコアグラント（Lupus anticoagulant: LA）をふくむ三項目のうち、いずれか一項目が12週間以上の期間をあけて2度以上検出されることが条件となっています。その中で、LAの評価は希釈ラッセル蛇毒時間（dRVVT）法という凝固検査を用いますが、国内でも複数の測定試薬が市販されており、検査間で診断の感度・特異度が異なることが懸念され、検査方法の標準化は十分ではありません。これまでの研究においては健常人を対象としていましたが、今回は本院のさまざまな患者さんを対象としてdRVVT測定を実施し、各測定試薬を比較評価して、検査法の標準化を図ることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

北海道大学病院 リウマチ腎臓内科：研究課題名「北海道大学病院 リウマチ・腎臓内科：診療目的で採取された血液・組織や、研究目的に提供いただく血液などの研究用保管とその利用」にご協力いただきました患者さん。

○利用する検体・情報

検体：血液

